

平成 26 年

雲南市議会 12 月定例会
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成 26 年 12 月 8 日～10 日】

平成 26 年雲南市議会 12 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	12/8(月) 9時30分～	8 / 佐藤隆司	一問一答	1,2	11	12/10(水) 9時30分～	6 / 多賀三雄	一問一答	18,19
2		2 / 中村辰眞	一問一答	2,3	12		9 / 周藤正志	一問一答	19～21
3	12/8(月) 13時00分～	16 / 堀江治之	一問一答	4,5					
4		7 / 細木照子	一括	5,6					
5		4 / 矢壁正弘	一問一答	6～9					
6	12/9(火) 9時30分～	3 / 原 祐二	一問一答	9,10					
7		10 / 西村雄一郎	一括	10～12					
8	12/9(火) 13時00分～	11 / 土江良治	一問一答	12～15					
9		5 / 白築俊幸	一問一答	15,16					
10		15 / 堀江 眞	一問一答	16～18					

平成26年雲南市議会12月定例会 一般質問通告一覧表

平成26年12月5日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	8	佐藤隆司 (一問一答)	1. 平成27年度予算編成について	<p>(1)基本的な方針について</p> <p>①市長は、合併10年を迎えた今年度は市民と共にこれまでの振り返りをし、これから先10年を考える1年と位置付け、並行して第2次総合計画の基本構想を定められた。総合計画の実行を確実に進めるための第一歩となる平成27年度予算編成の基本的な方針を伺う。</p> <p>②前期基本計画の「人口の社会増」に挑戦することとされ、「20歳代・30歳代を中心とした子育て世代」をターゲットに戦略的な事業展開を期間限定し、即効性かつ集中的に、また、「大胆な施策」を展開したいとのことであった。また、国の「まち・ひと・しごと創生本部」設置に対して、「諸手を挙げて歓迎する」とも言われた。来年度予算にどのように具体的に反映されるか伺う。</p> <p>③新規に取り組みを始動させる新たな施策、また、重点的な目玉的施策の考えがあるか伺う。</p> <p>(2)個別の施策について</p> <p>①「住宅」「雇用」「子育て」「教育」「若者チャレンジ」などの分野において「魅力ある事業」とは何か伺う。</p> <p>②「空き家」「結婚」対策など部局を超えた、横断的な対応が求められていると思う。それらについて基本的な考え、また具体的な考えを伺う。</p> <p>(3)景気対策について</p> <p>①アベノミクス効果が必ずしも地方の全産業にまで良い影響が及んでいないことから、突然の衆議院解散となった。市長として現在の景況感の見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>②政府の消費税の先送りがあり、景気の腰折れ回避策として緊急的な経済対策も考えられている。市としてのその対応や独自策の必要性と考えを伺う。</p> <p>③これまで、定住促進や市内循環型経済対策を質問してきた。平成 25 年 12 月定例会の一般質問で、UI ターン者、子育て世代、地元施工業者を優遇する“合わせ技”による、転入者・市民への需要喚起を高める施策の必要性や、今年 6 月定例会では、土地所有者、民間業者、行政の三者による三方一両損となるシステム（仮称）「住ま居る（スマイル）プロジェクト」を提案してきた。今般の経済対策として、今こそ、実施に向け異次元的に大胆にチャレンジすべきでないのかと考えるがどうか。</p>	
2	2	中 村 辰 眞 (一問一答)	1. 人権の取り組み について	<p>(1)毎年 12 月 10 日を最終日とする 1 週間は「人権週間」と定められているが、市の人権に対する取り組みの現状を伺う。</p> <p>(2)市内小中学校における人権学習の取り組みについて伺う。</p> <p>(3) 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）が平成 25 年 6 月に制定され、平成 28 年 4 月より施行される。法律施行に向け市としてどのような取り組みをする考えか伺う。</p> <p>(4)市における障がい者虐待の実態を伺う。</p> <p>(5)ひとり暮らしの高齢者が、判断能力低下により悪徳商法等に騙される事例が多発している。成年後見制度は被害を防ぎ、社会的弱者の権利擁護に有効と考えられている。市における現状と課題について伺う。</p> <p>(6)戸籍は最高の個人情報と考える。職務上請求書を使用しての戸籍謄本等の不正取得が問題となっている。県内でも代理人等に戸籍謄本等を交付した時に、登録した方に知らせる「本人通知制度」を実施している自治体がある。雲南市においても導入の必要性を感じるが見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 学校図書館の充実について	<p>(1)蔵書の充実について</p> <p>①学校図書館には、文部科学省が示した「公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準」がある。市内の達成度について伺う。</p> <p>②古くなった蔵書に対する廃棄基準について伺う。</p> <p>(2)図書館司書の配置について</p> <p>①図書館司書の今後の配置計画を伺う。</p> <p>②県内には全校に図書館司書を配置している自治体がある。全校配置が基本だと考えるが、市として全校配置に対する見解を伺う。</p> <p>③司書配置のない学校では、教員が公立図書館へ借りに行き負担となっている。公立図書館と学校図書館との間に、障害者優先調達法での信書便が応用できないか見解を伺う。</p> <p>(3)予算の充実について</p> <p>①昨年度まで学校図書費と教材備品費が一つの予算枠となっていた。この経緯を伺う。</p> <p>②本年度から小学校においては、学校図書費と教材備品費が分離された。中学校ではこれまでどおりである。この考え方について伺う。</p> <p>③県内 8 市の中でも雲南市の図書費に対する予算額は少ないように感じる。調べ学習等で必要とする情報系の書籍の古さに愕然とした。増額の考えはないか見解を伺う。</p> <p>④小学校では、子供たちのメディア依存の傾向が強くなっている。学校やPTA は研修会等において、対応を模索している。メディアから書籍への誘導が必要であり、学校図書館の存在は大きいと考える。市長の見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
3	16	堀江治之 (一問一答)	<p>1. 雲南市合併 10 周年について</p> <p>2. 下水道の加入負担金(分担金)の一元化について</p> <p>3. サン・チェリヴァの後継先探しについて</p>	<p>(1)合併から 10 周年を迎えたが、市長としてこの 10 年を振り返っての所感を伺う。</p> <p>(2)財政の健全化に向けて、これまで取り組まれた対策についての所感を伺う。</p> <p>(3)合併当初より接遇日本一を目指すと言われていたが、日本一の目標達成は出来たのか伺う。</p> <p>(4)早期の市内一体化を図ることを課題とされていたが、一体化は実現できたのか伺う。</p> <p>(5)旧町村間のライフライン等格差解消を早期に図るとされていたが、解消されたのか伺う。</p> <p>(6)これまで取り組まれた施策において反省点はなかったのか。また、継続して執行する必要がある課題はあるのか伺う。</p> <p>(1)下水道整備における各事業の面的工事等の進捗状況について伺う。 (公共下水道・特定環境保全・農業集落排水・簡易排水・コミプラ・合併浄化槽)</p> <p>(2)加入負担金(分担金)の一元化が 10 年経過した現在、いまだ実施されていない。一元化の考えはないのか伺う。</p> <p>(1)ショッピングセンター「サン・チェリヴァ」の閉店が発表されたが、従業員・テナント・利用されている方のためにも、また市の中心的市街地域の核としての施設であり、後継探しが急がれる。その後継探しは現状どのようなになっているのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 健康ポイント制度導入について	(1)うんなん健康都市を宣言された。今後具体的に、どのような展開推進を図られるのか伺う。 (2)今、全国の自治体で展開されつつある、健康ポイント制度の導入の考えはないのか伺う。	
4	7	細 木 照 子 (一 括)	1. 介護現場の人員確保について 2. 後発医薬品の周知について 3. 人生終末期の意思表示について 4. 不登校の児童・生徒の対策としてフリースクールの導入について	(1)介護現場では労働力不足が深刻である。原因は、家族を扶養できない給与の低さにあるといわれている。向こう 10 年間で、介護職員を 100 万人増員しないと介護需要に追いつかない。介護職員の処遇を改善し、人員確保が喫緊の課題である。職員の処遇を改善し介護需要に対応できるよう、国へ働きかける考えはないか伺う。 (1)「ジェネリック」は、まず言葉そのものに戸惑ってしまう。市民に分かりやすく周知する考えはないか伺う。 (1)人生の終末期における医療は、本人の意思確認ができない場合が多い。事前に本人の希望を把握しておけば、本人の意思が尊重されることになる。他県において「書面(ノート)」を作成して配布する取り組みがされている自治体もある。市としてこのような試みをする考えはないか伺う。 (1)島根県内の不登校の児童・生徒は増えている。文部科学省はフリースクールの公的支援を検討する方針を決めた。市としてフリースクールを導入する考えはないか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>5. 米価の下落対策について</p> <p>6. 畜産農家への支援拡充について</p> <p>7. 有害鳥獣被害対策の継続について</p> <p>8. 木造住宅の耐震化補助制度の周知について</p>	<p>(1)2014 年産米価の大幅下落に、現場から悲痛な叫びが上がっている。これでは耕作放棄地が増えるばかりである。「再生産可能な米価」を国に働きかける考えはないか伺う。</p> <p>(1)長引く子牛高騰によって、肥育を中心にした畜産農家からは「もう限界だ」と悲鳴が漏れ廃業を誘発する事態になっている。繁殖農家からも畜産業界の先行きを危ぶむ声がある。早急な支援拡充をする考えはないか。</p> <p>(1)猪をはじめとした鳥獣被害は後を絶たない。農家は「ワイヤメッシュ」貸与などの対策支援継続を期待しているが、考えを伺う。</p> <p>(1)島根県も、耐震化補助制度の利用が低調だといわれている。耐震化の重要性や補助制度を知らない人が多いのではないかと考えている。もっと、周知を徹底させる考えはないか伺う。</p>	
5	4	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 農業政策について	<p>(1)市の農業政策について</p> <p>①平成 26 年度産米の価格が大幅に下落し全国的に小売業者などへの売り急ぎが始まっている。また、担い手農業者、集落営農組織など農業従事者からは先行きが見えないとの声を聞く。市内の現状はどうなっているのか伺う。</p> <p>②このような状態が長引けば農業者にとっても、市の農業政策にも大きな打撃になる。市はこのような状態がどの程度続くと予測しているのか。また、どのような打開策を検討しているのか伺う。</p> <p>③緊急救済対策として、夏季天候不順等災害対策資金の利子補てんの対策</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 雲南圏域の医療 について	<p>が取られた。今後、これ以外にも救済対策を検討しているのか伺う。</p> <p>④各団体より、米価下落に対する救済の要望書が提出されている。どのよう に対処しているのか。早急な対応が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(2)農地中間管理機構制度の実施について</p> <p>①農業経営の効率化を進めるため、本年度より農地を有効利用する「農地中 間管理事業」がスタートした。雲南市では新規に設立される農業組合法人 にのみ集積協力金が支払われることになっている。なぜ、新規法人のみ に限定されたのか伺う。</p> <p>②この事業は、持ち主不在農地の借り入れについての条項があった。この 優先事項はいつまで続くのか。このままだと既設法人の方々はいつまで もこの制度に参加できない。いつになれば参加できるのか伺う。</p> <p>③今年度の島根県への配分額は2億4千万円、このうち雲南市への配分は 1,950万円であった。来年度以降、交付金の増額は見込めるのか伺う。</p> <p>(1)雲南市立病院の診察待ち時間について</p> <p>①雲南市立病院は予約診察となっているが、待ち時間が長くて困る。高齢 者・乳幼児などは、長時間の待ち時間に耐えられない。市民バスなどに 乗り遅れたとの声も聞いた。病院では、QC活動などの改善に取り組ま れているが、今ひとつの改善の余地は無いのか伺う。</p> <p>(2)夜間・休日の診療体制について</p> <p>①雲南市立病院の夜間・休日の診療では、当直の医師が専門医外であり診 察してもらえないケースもある。夜間・休日の診療体制の現状について 伺う。</p> <p>②医師の負担を軽減するためにも、市内の開業医が雲南市立病院の夜間・</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 防犯灯設置について</p> <p>4. 大規模停電について</p>	<p>休日の診療を支援する制度ができないか伺う。</p> <p>(1)防犯灯の設置について</p> <p>①中学生、高校生の保護者から、防犯灯設置の要望を多く聞く。防犯灯設置は設置者の自治会と行政が設置費用の半分ずつを負担し、使用料金は設置自治会が支払う制度となっている。この制度を根本的に見直す時期が来ていると思うが見解を伺う。</p> <p>②小規模な自治会では、設置が必要な場所があっても設置できないところもある。市が全額負担し設置する考えはないか。また、自治会運営交付金に防犯灯の設置数を考慮に入れる考えはないか伺う。</p> <p>③他市では中学校が独自で防犯灯設置が必要な場所を取りまとめて要望すると聞いた。毎日通学している児童・生徒や保護者の視点で危険な場所が良く分かると思う。市としてこのような作業を行っているのか伺う。</p> <p>(1)大規模停電の対策について</p> <p>①今年5月末の大規模な停電をはじめ、市内各地で4時間以上の停電が何回かあった。6月定例会では幾つかの課題も確認でき、今後の対策に生かしたいとの答弁だった。その後の停電の際に実際に対応出来たのか伺う。</p> <p>②告知放送は、中電と連絡をとり復旧の見込み等の確な告知が出来ているのか伺う。</p> <p>③鳥取県江府町では、小水力発電所を活用した「災害時無停電システム」を計画されている。このシステムは災害時マイクログリッド（大規模発電所からの送電電力に依存しない小規模な電力網のネットワーク）と呼ば</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>れ、停電している間は小水力発電施設からの電力に頼り、完全復旧までの間をしのぐというものである。市も小水力発電所等を設置できる場所の調査を行っているが、このような計画も検討されてはと思うが見解を伺う。</p> <p>④電化生活が普及している今、大規模停電が発生すれば市民生活が脅かされ、時期によっては大きな被害が発生する可能性がある。即原発ゼロなのか、代替電力施設を確実に確保した上でのゆるやかな原発ゼロなのか、いま一度市長の考えを伺いたい。</p>	
6	3	原 祐 二 (一問一答)	<p>1. 公共事業の発注と地域経済の活性化について</p> <p>2. 中小企業振興に</p>	<p>(1)市が発注する工事契約及び業務委託契約は、地域経済の活性化のためにどうあるべきと捉えているかを伺う。</p> <p>(2)平成 26 年度の一般競争入札における地元事業者の請負状況について、地域経済の活性化の視点で十分な効果が発揮されているのか伺う。</p> <p>(3)新庁舎建設事業における地元事業者の請負状況について、地域経済の活性化の視点で十分な効果が発揮されているのか伺う。</p> <p>(4)大型事業（市庁舎・市立病院）の発注方針は、地元事業者の参画による分離発注方式だが、地域経済の活性化において最良の方法と捉えているのか伺う。</p> <p>(5)地元企業活用型の入札方式は、地元企業の活用と健全な育成において有効と考える。市における取り組み状況と評価について伺う。</p> <p>(6)業務委託契約において、市内事業者との契約率向上への取り組み状況と結果について伺う。（平成 24 年度、100 万円以上の件数約 44%・契約金額約 60%）</p> <p>(1)後継者対策及び事業継承の取り組みについての行政支援策を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			向けての行政支援策について 3. 社会企業家への期待について 4. 米価の低下に伴う今後の見込みについて 5. 観光ビジネスの戦略について	(2)中小企業振興の取り組みについての行政支援策を伺う。 (1)社会起業家が地域経済に与える効果について、どう捉えているか伺う。 (2)幸運南塾（若者チャレンジプラン）の成果と今後の取り組みについて伺う。 (1)米価の低下がもたらす、地域経済に与えるマイナス要因をどう捉えているか伺う。 (2)雲南市産米の販売戦略について伺う。 (1)観光ビジネスが地域経済に与える効果について、どう捉えているか伺う。 (2)「雲南市観光地宣言」とは何かを伺う。 (3)選ばれる地域を目指して雲南観光未来塾が開催されているが、成果と今後の取り組み方針について伺う。	
7	10	西村雄一郎 (一括)	1. 児童の感染症対策等について	(1)平成23年4～5月保育所においてO26が集団的に発生した。その後の改善状況について伺う。 ①O26の感染検査について、出雲市内受診の場合は3日、雲南市内は6日以上必要とした。スピードアップに向けて保健所、市内医師会と協議を行うとのことであったが、その結果について伺う。 ②雲南市内診療所での検査を早めるための経費が必要であれば経費補助をする考えはないか。 ③雲南市立病院においては、連休中の1名体制の検査体制の改善はされた	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市報の配布につ	<p>か。</p> <p>(2)保育所等における対策について</p> <p>①インフルエンザ等の世界流行（パンデミック）の際の、保育所、幼保連携型こども園、幼稚園、小中学校の対策、計画はどうか伺う。</p> <p>(3)病児、病後児保育施設の拡充について</p> <p>子ども・子育て支援事業計画の中で、病児、病後児保育施設の検討状況について伺う。</p> <p>①平成 27 年度見込み量 576 人日に対し、保育提供は 320 人日可能とされている。人日の概念はどんなものか。</p> <p>②320 人日とは、休日を除き年間 300 日に毎日 1 人ずつ預かると考えればよいのか。</p> <p>③流行時については、「共稼ぎが多く感染児童を十分に休められず二次感染を引き起こして、流行が収束しない」との見込みもある。感染児は十分な休園をせず感染性胃腸炎、インフルエンザ等の流行が収束しないことが考えられないか。</p> <p>④計画では、病児・病後児保育は、平成 31 年度においても 3 施設、542 人日とされている。計画を見直し、病児・病後児保育の量を少しでも多く確保すべきではないか。</p> <p>⑤病後児保育利用料 1,500 円を免除し、利用しやすくできないか。</p> <p>⑥現状では、共働きの場合、仕事を休んで児童の看護にあたらざるを得ない。職場の理解が不可欠だ。事業所への啓発や、大流行時には、行政からの看護休業依頼書の発行等検討できないか。</p> <p>市報は、情報公開、行政情報伝達等、全世帯に配布されるべきである。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			いて	<p>(1)市報は、行政連絡員を通じ自治会加入世帯に配布されている。自治会未加入世帯は行政情報過疎になっていないか。そのことへの市の認識を伺う。</p> <p>(2)自治会未加入世帯への節目検診、避難勧告等生命に関わる情報の伝達は、どのように配慮されているのか。</p> <p>(3)自治会加入を促進するとともに、未加入世帯への配布も考えるべきと思うがどうか。</p> <p>(4)集合住宅の場合、管理組合との行政連絡員契約の締結、配布希望者への郵送、コンビニ、郵便局、交流センター等への配置など検討すべきではないか。</p> <p>(5)市民として受けることができる権利に十分配慮した配布基準（規則）を検討すべきではないか。</p>	
8	11	土江良治 (一問一答)	1. 公共交通機関J R利用促進につ いて	<p>(1)JR 木次線存続対策について</p> <p>①以前乗者行動促進のため地域主導の「乗って残そう木次線」の取り組みがあった。存続を図る取り組みはどのようになっているのか。</p> <p>②普通列車への行政支援は、今後の対応はあるのか。</p> <p>(2)トロッコ列車の利用促進・存続について</p> <p>①以前「ビール納涼」や婚活利用、風鈴の取り付けなどを提案した。地域行事への取り込み、三江線を巡る周遊性をもたせた旅行企画の試行など取り組む考えはないか。活用に向けた動きが全く見えない。行政が動き出せば、事業者側の努力を促すことにもなる。何故動き出さないのか。</p> <p>②地方創生法案が成立した。地方版総合戦略の中に C56108 の駅前移転、老体の気動車の更新等が盛り込めないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 鳥獣害対策について(12月議会補正予算増額から)	<p>(1)鳥獣害、とりわけイノシシの被害は大きい。防護柵には限界があり、絶対数を減らすことが一番の策と考える。</p> <p>①駆除班の人数は何人か。人数は足りているのか。70歳以上の占める割合は。近年の減少(増加)状況はどうか。また、全体で銃保持者の割合はどうか。</p> <p>②駆除班員の確保に向けてこれまでどのような対応をしてきたのか。</p> <p>(2)国は今年鳥獣保護法を改正されたと聞いている。その内容について、以下の点を伺う。</p> <p>①知事の許可で住宅地でも麻醉銃による捕獲が可能となった。麻醉銃保持者は駆除班におられるか。保持者がいない場合、貸与等の対応は考えられるか。</p> <p>②わなやメッシュでの免許取得の年齢が20歳から18歳以上に引き下げられた。班員拡大のため、この改正をどのように生かす考えか。</p> <p>③生息地拡大に伴い今回鳥獣の「管理」が加えられた。近年狩猟範囲拡大のため、鳥獣保護区が廃止・減少傾向にある。狩猟が禁止される鳥獣保護区は市内にどの程度存在するか。保護区が障害になっていると思われるか。障害になっているとすれば、保護区の更新時、廃止・減少を検討されるか。</p>	
			3. 農地中間管理事業の取り組みについて	<p>今年は概算金引き下げが米農家を直撃した。今後5年間は氷河期だと言う人もいる。耕作放棄も増加が予想され、集落営農組織化・法人化の芽立が悪くなるのが予想される。農地中間管理事業の市の対応状況と問題点について伺う。</p> <p>(1)新規設立農事組合あるいは法人はいくらか。それぞれ農地集約面積はい</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 26 年度全国学力 テスト結果について	<p>かほどか。</p> <p>(2)政府は今後 10 年間で全農地の 80%を大規模経営に集約することとしている。市としてこれが可能と考えているのか。既存の法人などの集積面積に加え、今回設立法人と合せて農地集約面積は市内全体で何%位か。</p> <p>(3)TPP 交渉の行方が見えない中、企業の農業参入促進もこの事業は謳い上げている。その見込みはあるか。</p> <p>(4)この事業に対応してみて、どのような問題が見えたのか。また、今後どのように対策を考えているのか。例えば、管理機構の仕組み、農業委員会の役割、不在地主の扱いなど。</p> <p>(1)文科省はこれまで禁じてきた市町村教育委員会による学校別成績の公表を今回から条件付きで認めるとしている。教育長の手許には順位が示されていたものがあると思う。これを踏まえ、次の 2 点を問う。</p> <p>①あらためてテスト結果の総評と雲南市の子どもたちの学力は全国的、県内的に順位はどうか。</p> <p>②学校別公表は、「検討中」か「未定」かあるいは「する考えはない」のいずれか。</p> <p>(2)「地方創生」の視点から伺う。</p> <p>市内小中学校の学力が高いと評判になれば、子どもを持つ移住希望者の移住先に雲南市が選択肢の一つとなる。昨年 1 月の報道によると、東京豊島区は全国学力テストの平均回答率がトップの秋田県能代市と「教育連携協定」を結び、秋田県の自治体と交流し、指導のノウハウを吸収する。また北海道釧路市は、全国平均を下回りかつ道全体の平均を下回ったことから、「子どもの学力が下がれば次の時代の街の力がなくなる」として学力ア</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				ップ大作戦を議会が条例化していると聞く。所見を伺う。	
9	5	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 空き家対策について 2. 鳥獣被害対策について	<p>市内の空き家は、現在約 820 戸程度存在するとのことであり、これは率にすれば全戸数の約 6%に相当する。</p> <p>(1)この現状及び空き家が市政に与える影響について、所見を伺う。</p> <p>(2)空き家の利用という面では、定住対策の一環として、空き家改修事業や UI ターン促進リフォーム事業等に取り組んでおられ、一定の成果も出ており評価するが、空き家に対する全般的な対策とはなっていない。老朽化した空き家については、防災性や防犯性の低下、生活環境や景観上から撤去せざるを得ないところもあり、発生防止から利活用、行政代執行を含めた処分まで、総合的な法体制を整備してほしいと思うが、所見を伺う。</p> <p>(1)イノシシ対策について</p> <p>①農家にとって極めて深刻かつ憂鬱な問題であるイノシシ被害が続いている。しかし、ハンターは高齢化し、年々減少しつつあり、これから 10 年先が懸念される。猟友会も頭を抱えておられる状況にあるが、何故、若者が入ってこないのか。また、それに対する方策はないか。</p> <p>②ハンターが減って、銃での捕獲ができなければ、箱ワナが有効と考えられる。現在、市や被害対策協議会が主体となって、箱ワナを購入し、各地区に設置されている。旧大字単位に 1 台程度では、特に中山間地域では間尺に合わない。銃の免許保有者が減少する中で、箱ワナの免許保有者は増えていると聞く。そういう点からすると、箱ワナへの補助等を強化すべきと思うが、所見を伺う。</p> <p>(2)クマ対策について</p> <p>①島根県を含む広島、山口の西中国と鳥取・岡山の東中国の広域圏計画で</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>は、クマに対する対応策が違い、鳥取県では殺処分が認められているとのことである。その理由を伺う。</p> <p>②鳥根県では、基本的に、クマは保護鳥獣として捕獲しても放獣されているが、掛合町の波多、松笠の一部地域では限定的に殺処分が認められた例もある。絶滅危惧種として保護も大事であるが、こうした対応が出来るということが各地域に余り周知されていないように思うがどうか。</p> <p>③こうした対応は、栗園とか住宅の近く、あるいは蜜蜂の巣箱周辺等、常習的に出没すると言うことが条件のようである。通学路等地域の実態に鑑み、弾力的に運用が出来るよう関係機関と協議すべきと考えるがどうか。</p> <p>④掛合町と飯南町等、隣接した地域に於いては、クマの出没注意情報は両町へ同時に流すべきと思うが現状はどうか。</p>	
10	15	堀江 眞 (一問一答)	1. 周辺地域の寂れ 対策について	<p>(1)周辺地域を中心に人口・戸数も減少してきている。現状をどのように認識しているのか。</p> <p>(2)集落に譲渡された公の施設が経年劣化により屋根の修繕やトイレの改修等が必要となり多額の費用負担に自治会が苦慮されている。地域の拠点であり、また地域の避難場所としても活用していく必要も有る。特にトイレの改修は喫緊の課題だ。これまで修繕は地元でとの返答が続いているが相応の行政支援が必要な時期が来ていると思うが見解を伺う。</p> <p>(3)指定管理されている同種の施設の修繕はどのような扱いか併せて伺う。</p> <p>(4)吉田町において保育所 小・中学校の児童・生徒数の減少が著しい。保育料・住宅家賃の無料化を含む思い切った負担軽減策を打ち出し、市営住宅など空家・空室へ子供のいる世帯の誘致を図るべきと思うがどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 高速道路の全線 開通を控えて	<p>(1)来春にはいよいよ松江～尾道間が全線共用開始される。吉田町内 2 箇所のインターが南の玄関口としての役割を果たしているのか。市長の所感を伺う。</p> <p>(2)高速料金も見直された中で 無料区間の意義は大きい。無料区間のメリットを生かして 企業誘致を図るべきだ。大規模な企業誘致は企業団地に任せても小規模な企業の招聘を含めて検討すべきではないか。改めて見解を伺う。地方創生の望むところではないか。</p>	
			3. 災害対策について	<p>(1)豪雨災害など自然災害が頻発している。砂防堰堤は有効な防災施設と考えるが砂防堰堤から下流の流路工は原則として施工しないと聞いた。それでいいのか伺う。</p>	
			4. 農業・畜産振興 について	<p>(1)米農家にとって大変厳しい秋になっている。現状をどのように認識されているのか。</p> <p>(2)農業は地域創生の根幹だ。今やらずしていつ出来るか。農業基盤整備に大幅な支援策は考えられないか。排水路、パイプハウスの更新、農業機械の更新など手当てが出来ないか改めて伺う。</p> <p>(3)上山繁殖センターは、繁殖農家を募集されていたがその後の状況を伺う。</p> <p>(4)上山農用地について一年ごとに荒廃が進む気がする。活用したいという引き合いもあるがあまりの荒廃にしり込みされるのが実情だと思う。農地転用を含めて様々な話が舞い込む。事業導入による再耕起で新たな動きを作り出せないか。</p> <p>(5)畜産農家も減少して出場される農家も限られ、市共進会から県共進会へ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				と進むたびに大変な労力が必要である。各種和牛共進会への出品手当をもう少し充実してはどうか。	
11	6	多賀三雄 (一問一答)	1. 消費税・アベノ ミクスと市長の政 治姿勢について 2. 国民健康保険料 について 3. 農業問題につい て	(1)市長は、消費税増税・アベノミクスは雲南市民にどんな影響があったと考えるか。 (2)消費税は廃止すべきと考えるが、どうか。 (3)雲南市内の平均的な年金生活者の月収と消費はどんな状況ととらえているか。 (4)とくに子育て世代の貧困化が進んでいるが、どう受け止めているか。 (5)雲南市の生活保護世帯数の推移の状況はどうか。 (6)就学援助を受ける子どもも増えているが、雲南市の状況はどうか。 (7)市は貧困世帯に対してどのような支援を準備しているか。 (8)市長は、雲南市民・地域経済に害悪をもたらすばかりの消費税増税・アベノミクスなど安倍政権の政策に反対の声を上げるべきではないか。 (1)高すぎる国民健康保険料は、基金を活用し、一般会計から繰入れをして、引き下げるべきと考えるが、どうか。 (2)国保の広域化（県単位化）は何のためか。 (3)県単位化で雲南市にどんな利益があるのか。雲南市の国保料はどうなるのか。 (1)なぜ、米価が暴落したか。 (2)農業を国の基幹産業として、農家と主食を守るべきと考えるが、どうか。 (3)今年は今迄家族農業年。家族農業を基本とすることについてどう考えるか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 教育委員会制度 の改変について	<p>(4)農協・農業委員会・農業生産法人の「改革」をどうとらえているか。</p> <p>(5)雲南市として、TPPに反対し、国・県にもの申すべき、と考えるが、どうか。</p> <p>(6)雲南市も独自の農家支援をすべきと考えるが、どうか。</p> <p>(1)教育委員会制度がどう変わるか。</p> <p>(2)戦後教育委員会制度創設の意義は何だったのか。</p> <p>(3)市長は、なぜ「教育再生首長会議」に参加しているのか。</p> <p>(4)教育委員会委員長は、教育委員会の活性化、教育委員会の首長からの独立を言明すべき、と考えるが、どうか。</p> <p>(5)市長は、教科書採択はじめ教育内容に介入しないことを明言すべき、と考えるが、どうか。</p> <p>(6)教育の独立に配慮し、雲南市の条例改正は、最低限にすべきと考えるが、どうか。</p>	
12	9	周藤正志 (一問一答)	1. 合併10年の検証とこれからのまちづくりについて	<p>(1)これからの財政運営のあり方</p> <p>①これからの財政運営における財政指標などの最低基準や目標はどこにおくのか。</p> <p>②交付税制度改正の見通しと、一本算定で復元できない部分へはどう対処するのか。</p> <p>③地方債の今後の繰上償還に対する方針はどうか。</p> <p>(2)地域からの健康づくり</p> <p>①健康づくり推進協議会の設置、健康都市宣言など市長の掲げる3本柱の一つ「健康長寿・生涯現役」が少しずつ進んでいるが、これからは一層地域からの健康づくりが必要だ。地域自主組織とどう関連させ具体的に</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. JR 木次線の利 用促進策について	<p>取り組むのか。</p> <p>(3)これからのキャリア教育と市内高校との連携・支援強化</p> <p>①教育フェスタで提起された「地域課題解決型キャリア教育」を教育基本計画に盛り込み推進すべきではないか。</p> <p>②来年度から三刀屋高校と大東高校がともに1学級減となる。飯南町などのようにまちをあげて高校と連携し支援していくべきではないか。</p> <p>(4)地域経済をいかにまわし、底上げを図るか</p> <p>①中小企業信用保証料補助金などが今年度末で失効する中であって、中小企業振興基本条例に基づく地域経済振興会議での議論を踏まえ、来年度事業や予算、中長期的ビジョンなどにおいて、どのような中小企業振興策を打ち出すのか。</p> <p>②サン・チェリヴァの後継事業者については、単に既存店と競合するだけの市外業者を入れるのではなく、買い物弱者対策（送迎や配達）や地元の「安心安全」と「地産地消」にこだわった、差別化した形態を求めていくべきではないか。</p> <p>(5)いかに農業の衰退を食い止めるか</p> <p>①米価下落と農政の迷走には目に余るものがある。「安心安全」と「地産地消」を基本とした、市独自の農業支援策をもっと拡充強化していくべきではないのか。</p> <p>(1)JR との協議の場を設けて</p> <p>①8 台ある車両をもっと明るいカラーに変えたり（ラッピングもあってもよい）して、乗ってみたいくなる、全国どこにもない木次線にしてはどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				②本庁舎建設を機に最寄り駅として、「斐伊神社」付近に新駅を設置したらどうか。	